

第22回生協ふれあいの森植樹祭「仙人平」開催報告

1. 日時 2023年6月18日(日)：10:20～12:00
2. 場所 十和田市仙人平（蔦温泉近く）
3. 参加名
 コープあおもり（8名）青森保健生協（3名）県民生協（9名）森林管理署（5名）
 弘前大学生協（34名） 県生協連（4名） ※うち組合員（39名）
4. 当日プログラム

10:00～	集合
10:20～10:30 開会式	あいさつ 県生協連 宮本 達也副会長 三八上北森林管理署 大倉 正彦 署長 参加者紹介、チーム確認、記念撮影、移動
10:30～11:20	植樹方法の確認、植樹（ミズナラ 120本）
11:20～12:00	移動、森林散策（フィールドビンゴ）、解散



植樹前にラジオ体操



植樹のやり方の指導

・6月18日（日）、仙人平において第22回「生協ふれあいの森」植樹祭を開催しました。生協組合員や森林管理署の皆さん、スタッフを合わせて63名が参加し、ミズナラの苗木120本を植えました。新型コロナウイルス感染予防のため、参加人数を制限し、午前中のみの企画としました。県生協連では2001年から三八上北森林管理署と「ふれあいの森協定」を締結し、牛乳パックのリサイクルの収益金をもとにした植樹活動を仙人平で実施してきました。22年間で延べ2,215名が参加し、植えることができたブナ・ミズナラの苗木は4,270本となりました。

・参加者は気温が高い中、植樹を行いました。森林管理署の方が、事前に笹などの草刈り、植樹場所の土の掘り起こしなどを実施してくださったため、例年よりスムーズに植樹を行うことができました。

・植樹だけでなく、昨年度植えたブナの苗木の周りに生える笹の剪定も実施しました。植樹だけで終わらず、その後の苗木の成長についても考えることができる試みとなりました。

・フィールドビンゴを実施し、参加者に楽しみながら自然に触れ合う体験をしてもらうことができました。

・参加者より、仮設トイレの設置の希望が感想として出されました。



生協の組合員、職員も植樹や笹の伐採を、暑い中頑張りました。



弘大生も植樹、頑張りました

～組合員さんの感想～

- ・自分の手で植えたミズナラが育っていくのがとても楽しみで、今後も機会を作って植樹場所を見に行きたいと思います。
- ・自然環境を意識するきっかけとなった。散策で植物をじっくり見ることができたのが楽しかった。
- ・自然をたくさん感じられてリフレッシュできましたし、植樹もとても楽しかったです！！
- ・去年植樹した木が少し大きくなっていて感動しました。
- ・改めて自然の偉大さを実感しました。自分も植樹をして地球のためというやりがいも感じました。